



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 東亜道路工業株式会社
コード番号 1882 URL <http://www.toadoro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉原 健一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 野田 雅之

TEL 03-3405-1812

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	39,321	△7.9	△338	—	154	△86.1	219	△63.2
26年3月期第2四半期	42,684	11.9	1,120	—	1,105	—	597	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 329百万円 (△48.2%) 26年3月期第2四半期 637百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	4.33	—
26年3月期第2四半期	11.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	70,444		28,468		39.7	
26年3月期	80,097		28,108		34.5	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 27,980百万円 26年3月期 27,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	△2.4	5,200	△23.8	5,600	△16.6	3,550	△13.9	69.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	52,200,239 株	26年3月期	52,200,239 株
27年3月期2Q	1,460,272 株	26年3月期	1,455,439 株
27年3月期2Q	50,742,260 株	26年3月期2Q	50,756,288 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算開示時において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(会計方針の変更)	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
(1) 事業別受注・売上・次期繰越高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策により、企業業績の改善や雇用・所得環境に改善が見られるなど、国内景気は全体として緩やかな回復基調で推移しておりますが、新興国の成長の減速懸念等により、先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であります道路建設業界におきましては、民間設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、材料価格、労務費等の上昇の影響もあり、経営環境は引続き厳しい状況のもと推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注高は、52,393百万円（前年同四半期連結累計期間比11.1%減少）となり、売上高は39,321百万円（前年同四半期連結累計期間比7.9%減少）となりました。

損益につきましては、売上高の減少により、営業損失は338百万円（前年同四半期連結累計期間、営業利益1,120百万円）、貸倒引当金戻入額545百万円の計上がありますが経常利益は154百万円（前年同四半期連結累計期間、経常利益1,105百万円）、四半期純利益は219百万円（前年同四半期連結累計期間、四半期純利益597百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建設事業

当第2四半期連結累計期間における受注高は36,002百万円（前年同四半期連結累計期間比12.2%減少）となりました。完成工事高は、22,930百万円（前年同四半期連結累計期間比7.2%減少）となり、セグメント利益は15百万円（前年同四半期連結累計期間、セグメント利益667百万円）となりました。

②建設材料等の製造販売・環境事業等

当第2四半期連結累計期間における売上高は16,390百万円（前年同四半期連結累計期間比8.8%減少）、セグメント利益は386百万円（前年同四半期連結累計期間、セグメント利益1,122百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、未成工事支出金等の増加はあったものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少等により、前連結会計年度末に比べ10,163百万円減少し、48,332百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ510百万円増加し、22,112百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ9,652百万円減少し、70,444百万円となりました。

(負債)

流動負債は、未成工事受入金等は増加いたしましたが、支払手形・工事未払金等、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ10,508百万円減少し、33,323百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ495百万円増加し、8,651百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ10,013百万円減少し、41,975百万円となりました。

(総資産)

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ360百万円増加し、28,468百万円となりました。

この結果、自己資本比率は39.7%（前連結会計年度末は34.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月4日に最近の業績の動向を踏まえ、平成26年5月14日に発表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

売上高につきましては116,000百万円（前回予想比2,000百万円の増収）、営業利益5,200百万円（前回予想比600百万円の増益）、経常利益5,600百万円（前回予想比1,100百万円の増益）、当期純利益は3,550百万円（前回予想比750百万円の増益）となる見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が838百万円減少し、利益剰余金が539百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失が37百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ37百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,358	13,151
受取手形・完成工事未収入金等	39,925	20,835
未成工事支出金	5,263	10,341
商品及び製品	691	632
仕掛品	143	114
材料貯蔵品	1,071	917
繰延税金資産	673	910
その他	1,630	1,662
貸倒引当金	△262	△233
流動資産合計	58,496	48,332
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,351	2,342
機械・運搬具（純額）	2,354	2,497
土地	12,618	12,618
リース資産（純額）	784	874
建設仮勘定	366	678
その他（純額）	131	211
有形固定資産合計	18,607	19,223
無形固定資産		
	141	144
投資その他の資産		
投資有価証券	1,592	1,758
長期貸付金	1,197	534
退職給付に係る資産	-	9
繰延税金資産	226	71
その他	602	607
貸倒引当金	△765	△236
投資その他の資産合計	2,853	2,744
固定資産合計	21,601	22,112
資産合計	80,097	70,444

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	27,862	17,580
短期借入金	7,036	5,815
1年内償還予定の社債	350	205
未払法人税等	2,382	201
未成工事受入金	3,191	7,140
完成工事補償引当金	59	79
工事損失引当金	175	86
その他	2,774	2,214
流動負債合計	43,832	33,323
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	4,459	5,611
繰延税金負債	212	425
再評価に係る繰延税金負債	1,235	1,235
退職給付に係る負債	1,252	389
資産除去債務	79	50
その他	826	878
固定負債合計	8,156	8,651
負債合計	51,988	41,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,584	7,584
資本剰余金	6,955	6,955
利益剰余金	12,660	12,912
自己株式	△338	△340
株主資本合計	26,862	27,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525	627
土地再評価差額金	517	517
退職給付に係る調整累計額	△279	△277
その他の包括利益累計額合計	763	868
少数株主持分	482	488
純資産合計	28,108	28,468
負債純資産合計	80,097	70,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	42,684	39,321
売上原価	38,319	36,320
売上総利益	4,365	3,001
販売費及び一般管理費	3,245	3,339
営業利益又は営業損失(△)	1,120	△338
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	31	34
貸倒引当金戻入額	32	545
持分法による投資利益	6	3
その他	60	53
営業外収益合計	145	649
営業外費用		
支払利息	94	80
金融手数料	54	46
その他	11	29
営業外費用合計	160	156
経常利益	1,105	154
特別利益		
固定資産売却益	31	23
その他	0	-
特別利益合計	31	23
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	2	7
建替関連損失	10	-
特別損失合計	13	8
税金等調整前四半期純利益	1,124	169
法人税等	505	△56
少数株主損益調整前四半期純利益	618	225
少数株主利益	20	5
四半期純利益	597	219

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	618	225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	102
退職給付に係る調整額	-	1
その他の包括利益合計	18	104
四半期包括利益	637	329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616	324
少数株主に係る四半期包括利益	20	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,124	169
減価償却費	657	721
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△558
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△35	△89
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△4	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△76	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△31
有形固定資産除却損	2	7
受取利息及び受取配当金	△46	△47
支払利息	94	80
持分法による投資損益(△は益)	△6	△3
有形固定資産売却損益(△は益)	△31	△22
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	-
売上債権の増減額(△は増加)	11,297	19,089
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△5,236	△5,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	△81	242
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,319	△10,313
未払消費税等の増減額(△は減少)	△299	△481
未成工事受入金の増減額(△は減少)	3,273	3,948
その他	△602	△139
小計	1,700	7,494
利息及び配当金の受取額	46	47
利息の支払額	△96	△81
法人税等の支払額	△627	△2,329
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	5,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	20
有形固定資産の取得による支出	△992	△1,132
有形固定資産の売却による収入	33	33
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却による収入	0	-
子会社株式の取得による支出	△28	-
貸付けによる支出	△290	△104
貸付金の回収による収入	324	767
その他	△12	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△968	△412

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,522	△1,496
長期借入れによる収入	2,900	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,391	△1,372
社債の償還による支出	△224	△175
子会社の自己株式の処分による収入	26	-
自己株式の取得による支出	△5	△2
配当金の支払額	△354	△507
その他	△132	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△703	△910
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△649	3,813
現金及び現金同等物の期首残高	11,757	9,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,107	13,151

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間の期首より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、期首の利益剰余金が539百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	製造販売・ 環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	24,719	17,965	42,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46	781	827
計	24,765	18,747	43,512
セグメント利益	667	1,122	1,790

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,790
セグメント間取引消去	35
全社費用(注)	△705
四半期連結損益計算書の営業利益	1,120

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	製造販売・ 環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	22,930	16,390	39,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54	475	529
計	22,984	16,866	39,851
セグメント利益	15	386	401

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	401
セグメント間取引消去	39
全社費用(注)	△780
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△338

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 事業別受注・売上・次期繰越高

区 分			前第2四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
前期繰越高	建設事業	舗装工事	14,546	73.3	17,588	73.0
		土木工事	5,298	26.7	6,515	27.0
		計	19,845	100.0	24,103	100.0
	製造販売・環境事業等		—	—	—	—
	合 計		19,845	100.0	24,103	100.0
受注高	建設事業	舗装工事	34,494	58.5	30,766	58.7
		土木工事	6,494	11.0	5,235	10.0
		計	40,988	69.5	36,002	68.7
	製造販売・環境事業等		17,965	30.5	16,390	31.3
	合 計		58,954	100.0	52,393	100.0
売上高	建設事業	舗装工事	21,946	51.4	19,918	50.7
		土木工事	2,773	6.5	3,011	7.6
		計	24,719	57.9	22,930	58.3
	製造販売・環境事業等		17,965	42.1	16,390	41.7
	合 計		42,684	100.0	39,321	100.0
次期繰越高	建設事業	舗装工事	27,094	75.0	28,436	76.5
		土木工事	9,020	25.0	8,739	23.5
		計	36,114	100.0	37,175	100.0
	製造販売・環境事業等		—	—	—	—
	合 計		36,114	100.0	37,175	100.0